



神郷北小だより

令和4年6月吉日

もしもの時の備えは大丈夫ですか？

6月に入ると、日差しも強く暑い毎日が続くようになりました。梅雨入りしているとはいえ、雨量はそれほど多くなく、むしろ蒸し暑い毎日が続いています。子ども達は、プール開きも行い、天気がいい日にはプールに入り、楽しんでいます。

さて、学校では非常時に備えて様々な訓練をしています。ひと昔前の避難訓練といえば、地震と火事への対応でしたが、最近では、不審者対応や児童の引き渡し訓練も行っています。

では、なぜこのような訓練を度々行うのでしょうか。災害を想定した訓練は、いざというときに迅速に対応することができます。大切な命を守るために、災害時には、消防・警察・自衛隊による「公助」、家族による「自助」、近隣住民による「共助」があります。共通の経験、共通の意識をもって行動すれば、これは防災、減災にもつながるのです。かけがえのない命を守るために、しっかり訓練していきます。

また、今年は、親子で家の周りの危険箇所について確認をしました。地図を頼りに、危険な場所を書き込んでいきましたが、川やため池、見通しの悪い道路や空き家など、危険を感じる場所がたくさんありました。共通認識できたことは、非常に価値ある活動になったと感じています。その際、「子ども110番の家」も確認しました。ここ数年更新されていないようです。今年度、改めて「子ども110番の家」の依頼をします。子ども達が住んでいる地域が中心となりますが、ご協力をお願いします。2学期には、子ども達と一緒に、「神郷北小安全アップ」を作成します。

さらに、6月24日の参観日では、親子で「救急法講習会」を行いました。傷病者が発生したときの対処の仕方を学びました。安全確認、119番通報、AEDの手配、胸骨圧迫、AEDの装着と一連の作業をみんなで体験しました。保護者の方は全員が積極的に体験されていました。また、子ども達にもできることがあることがわかり、真剣にそして積極的に取り組むことができました。子ども達のチームワークにも驚かされました。かけがえのない命を守る行動をそれぞれが自覚し、生活していきたいものですね。

引き渡し訓練の様子(5/30)



地震対応訓練&起震車体験(6/17)



安全マップ資料づくり(5/30)



救急法講習会



(6/24)

交流体験 with 千屋小学校 芋づる植え

6月1日(水)に、2年生は千屋小学校との交流体験学習として「芋づる植え」をしてきました。千屋小学校が、地元成地の貸し農園で野菜作りをしているのですが、そこで一緒に体験しました。

「紅はるか」「シルクスイート」「鳴門金時」の苗300本です。

千屋小学校の友達とおしゃべりをしながらいろいろな植え方を体験してきました。秋には収穫に行きます。大きなサツマイモがたくさんできますように。



朝の読み聞かせ週間(6/13~17)

6月の第3週は、神郷北小学校恒例の読書週間です。この1週間は、毎朝子ども達に読み聞かせを行っています。本を読むのは、教職員と図書委員会、そして学習ボランティアの方々です。今年も4名のボランティアさんが、早朝より来校され、子ども達に素敵な本を読んでもくださいました。

どの学年も読み聞かせが始まると本の世界に引き込まれ、食い入るように話に聞き入っていました。いい本と出会い、自分の生活に潤いをもたせたいものですね。



第1回 学校運営協議会開催

6月24日(金)に、今年度初の学校運営協議会を行いました。委員の方々は、昨年度から引き続きの竹本さん、上原さん、福田さん、石倉さんの4名と今年新たに、四木さんと島上さんに加わっていただきました。今年の教育計画について説明した後、参観いただいた授業や救急法講習会について感想をいただきました。

また、学校要覧を基に、児童数の減少に伴う今後についても少し議論していただきました。学校の心強いサポーターとして、ご指導、ご支援よろしくお願いします。



7月の行事予定(お楽しみに~!)

- 7月 1日(金) 演劇鑑賞会(劇団風の子九州)
- 4日(月) 児童朝礼・放課後子ども教室
- 5日(火)~6日(水) 5年生宿泊学習
(国立吉備青少年自然の家)
- 8日(金) 短縮授業(下校14:10)
- 11日(月) 児童朝礼・大そうじ
- 12日(火) 教育委員学校訪問
- 13日(水) 2年生食育指導
- 15日(金) 大そうじ・いっせーのーDay
- 19日(火) 第1学期終業式
- 20日(水) 夏季休業日・夏学習・水泳練習・個人懇談
- 21日(木) 夏学習・水泳練習・個人懇談
- 22日(金) 夏学習・水泳練習
- 25日(月)~26日(火) 水泳練習
- 28日(木) 新見市学童水泳記録会

論語学習③

まな おも すなわ くら
「学びて思わざるは則ち罔く、
おも まな すなわ あやう
思いて学ばざれば則ち殆し」

(本を読んだり、先生から教わったりしたことを、ただやみくもに覚え込むだけで、どうしてそうなるのか、その理屈まで考えてみなければ、何事もはっきりしない。その一方、自分の頭で考えるだけで、本や先生から学ばないとすれば、それは独りよがりとなり、危なっかしくて仕方がない)

「学ぶことと考えることのバランス、自分が得た知識を、必要に応じて自分の生活の中に生かせる知恵にすることが大切なのです。」